

家庭菜園相談室

今月の
テーマ

知ってるとおトクな豆知識！

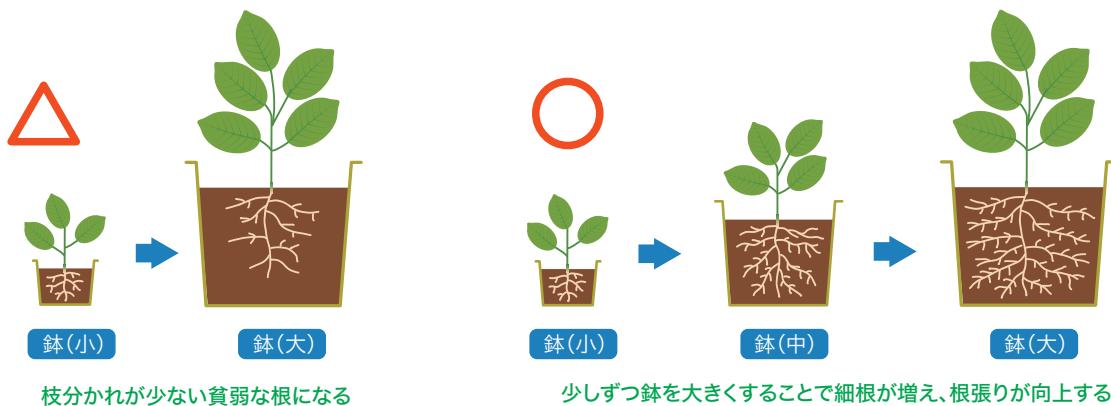
家庭菜園が本格化する春に向けて、覚えておきたい家庭菜園の知識をご紹介します。

最適な大きさの鉢で育てよう！

花や観葉植物をポットや鉢植えで栽培していると、生育が進むにつれて根が鉢の中で密集する「根詰まり」を起こすことがあります。根詰まりを起こすと、根から水分や肥料分をうまく吸収できず、生育不良の原因になることがあります。根詰まりの解消には、大きい鉢に植え替える「鉢替え」をしましょう。この際、いきなり大きな鉢に植え替えるのではなく、ひとり回り大きい鉢へ何回かにわたって植え替えるのがポイントです。根は固いものに当たると枝分かれをして細根を増やす性質がありますが、大きな鉢へ植え替えてしまうと、根は鉢の壁に当たるまで急速に伸び続け、細根が少ない貧弱な根になってしまいます。一方で、ひとり回り大きい鉢に植え替えていくことで、根が鉢の壁に当たりやすく、細根を増やしながら根を伸ばすことができ、水分や肥料の吸収効率が上がることが期待できます。

また、鉢替えの際は、詰まった根鉢を少しほぐしてから植え替えると良いです。

なお、鉢替えを行うタイミングは、開花期などの植物がエネルギーを必要とする時期は避けましょう。



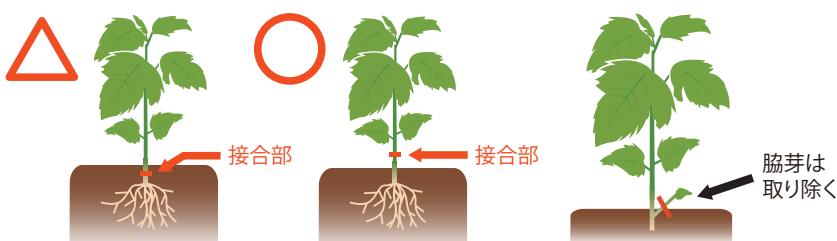
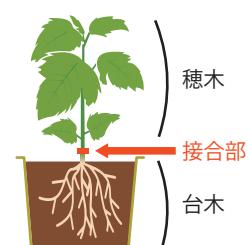
便利な接ぎ木苗を上手に育てよう！

ホームセンターなどで販売されている野菜苗には「接ぎ木苗」のものがあります。接ぎ木苗とは、それぞれの野菜が持つ良いところを組み合わせた苗のことです、病気や害虫に強いなどの特徴を持つ「台木」と、実の多収性や良食味性などの特徴を持つ「穂木」からできています。

接ぎ木は同じ品目の野菜同士で行われる場合と、異なる品目の野菜を組み合わせて行われる場合があります。(例:カボチャの台木+キュウリの穂木)

接ぎ木苗を育てるときに気を付けるポイントは、接合部分が土に埋まらないように定植することです。ここが土に埋まってしまうと、穂木から根が伸びてしまうことがあります。

また、台木からも腋芽が伸びてくることがあります。この腋芽に養分が取られないように、台木から出た芽はすぐに取り除きましょう。



その他、家庭菜園に関する相談は、JAの支店または営農経済センターまでご連絡ください。